

大学連携 ESD・環境教育コンテンツ検討会 報告書（第4回，第5回）

2010/6/29
金沢電子出版株式会社

委員名簿

- ・ 古畑先生 (金沢大学)
- ・ 西山先生 (金沢大学)
- ・ 鈴木先生 (金沢大学)
- ・ 高月先生 (石川県立大学)
- ・ 川辺先生 (金城大学)
- ・ 新田先生 (小松短期大学)
- ・ 沢野先生 (星稜短期大学)
- ・ 三国先生 (北陸大学)

- ・ 金沢電子出版株式会社 (オブザーバー)

第4回

日時：4月21日 18:00 - 20:00
場所：広坂庁舎シティカレッジ 教室1

1. コンテンツの内容の検討
 - (ア) 鈴木先生
「なぜ今私たちは環境問題に取り組まなければならないか」
(添付資料①参照)
 - (イ) 高月先生
「廃棄問題とライフスタイル」(添付資料②参照)

第5回

日時：6月15日 18:00 - 20:00
場所：広坂庁舎シティカレッジ 教室1

1. コンテンツの内容の検討
 - (ア) 鈴木先生
「なぜ今私たちは環境問題に取り組まなければならないか (最終版)」
(添付資料③参照)
 - (イ) 高月先生
「廃棄問題とライフスタイル (最終版)」(添付資料④参照)
2. コンテンツの運用方法
 - ・ 共通で利用することが大前提
 - ・ UCI ポータル上での利用が基本
 - ・ e教育利用センターで利用については案内・相談対応をする
 - ・ 完成後に各大学の教員・事務官に集ってもらい案内をする
 - ・ コンソーシアム参加校(19大学)には提供
 - ・ LMSを利用するので学習管理が可能(確認テストも)
 - ・ 県や市での公開講座での利用も可能



3. コンテンツの仕様について
 - ・ ナレーション付きのビデオコンテンツ
 - ・ 90分はきついで、章毎に作成する 15分程度
 - ・ UCI教材DBにのせる
 - ・ 教材DBにPPT・解説・シナリオを置き、教員に必要な個所だけDLしてもらう
 - ・ 模範があると使いやすい
 - ・ 高月先生の講義を録画して参考する（予算的には安価）
 - ・ 可能であればダイジェスト版も用意する
 - ・ 予算は2つ作成するとして1つにつき300万円弱の投入は可能
 - ・ 予算的には何種類か作成することは可能
4. 最終的なコンテンツの仕様の確定
 - ・ ナレーション付きのスライドコンテンツ
 - ・ シナリオ作成の為に講義を録画する（UCIの自動録画装置を利用）
 - ・ 高月先生 シティカレッジの講義を録画 7/17
 - ・ 録画データからシナリオの作成
 - ・ 分割
 - ・ 著作権の処理
 - ・ ダイジェスト版の作成
 - ・ WEBコンテンツ（添付資料⑤参照）
 - ・ PPT+解説
 - ・ ブラッシュアップ
 - ・ 著作権処理
5. 金沢電子出版からのコンテンツの仕様についての提案
 - ・ WEBコンテンツ（添付資料⑤参照）
 - ・ オンラインで活用できる（LMS上で利用）
 - ・ HTMLなので作りこみの自由度が高い
 - ・ 教員用だけでなく学生用にも作成可能
 - ・ もっとよく知りたい教員・学生にもリンクを利用してより詳しいページを案内
 - ・ 動画コンテンツものせることが可能
 - ・ 高月先生のイラストを前面に押し出したコンテンツの作成も面白いのでは
 - ・ 自習用に適している
 - ・ 学生の意見の回収が容易

結論

作成する教材の形式は下記の3種類とする。

- [A]スライドコンテンツ（ナレーション付き）
- [B]パワーポイント（解説および教授資料付きの素材集）
- [C]HTMLコンテンツ（添付資料⑤参照）



第3回大学連携 ESD・環境教育コンテンツ検討会

日時：平成22年1月19日（火）16時30分～18時30分

場所：四高会館多目的室2

出席者：金沢大学 鈴木先生

金沢大学 古畑先生

金沢大学 西山先生

小松短期大学 新田先生

石川県立大学 高月先生

※ コンテンツの作成は金沢電子出版株式会社に（企画の段階からオブザーバーとして参加）

1. 西山先生より会議の検討事項の説明

2. 鈴木先生からコンテンツの説明（PPT＋メモ書き）

（以下、発言順です）

鈴木先生 利用者に選択の幅を持ってもらうために、少し多めに作ればよいのではないのでしょうか。

西山先生 コンテンツの内容や構成に関してご意見ないでしょうか。

高月先生 熱帯雨林や行動ネットワークのお話などは知る人ぞ知る話ですね。

西山先生 熱帯雨林の減少の大量消費は人が原因なののでしょうか？

鈴木先生 色んなファクターがあるが一番問題なのはトウモロコシ栽培による土地改変。5年間で日本の面積ぐらい改変が進んでいる。事実として実際に起こっていることを知ることが大事なのでは。ショックを受けて興味をもってもらえたらいいなという発想です。

西山先生 使用する先生がピックアップしやすいようにリストを作る必要があるのでは。

高月先生 世界の環境問題が日本にどう影響があるのか伝える必要があるのではないのでしょうか。

鈴木先生 リサイクルの話をもう少し詳しく話すと興味を持ちやすいかも。よくある「割りばしの話」など。

高月先生 日本紙の消費が深く関与している事や森林伐採などは日本の商社がやっている話など。しかしながら、一方的な見方の情報なのでうまく学生たちに伝えていかなければならない。

新田先生 このまま進むと将来どうなるのかまとめた物があれば良いのでは？

鈴木先生 どのレベルで見るのかによって凄く違いがある。色んなシュミレーションがあるので、少しそういうものを付け足す。

新田先生 実感できるものがあるとより現実味があると思います。

高月先生 学生たちは人ごとのように考えているので、何とか引き込まなければ。

鈴木先生 最初に知ってほしいことは日本もダメージを受けるということ。発展途上国はさらに大きいダメージをうける。

西山先生 森林破壊や砂漠化に関してのシュミレーション等はあるのか？

鈴木先生 色々あります。

鈴木先生 限られた時間の中で何をピックアップするか。私たちの暮らし（日本）がハイライトされるようなものが良いかもしれませんね。北陸だと降雪量の減少、ゲリラ豪雨の増加など。誰しものが実感できる事例をもってくれば無視できない状況になるのではないのでしょうか。学生たちにきっかけを与えるような形にもっていきたい。コンテンツの形式としては広めに作成しておく。

古畑先生 作り方の問題ですが、1つはナレーションの入った動画方のコンテンツ、もう1つはPPTのコンテンツを用意すれば対応しやすいのではないのでしょうか。

鈴木先生 可能であれば3点セットにした方がよいのでは。最後の一つはもう少し詳しい資料集のようなものがあれば分野を絞って進める場合に参考になるのではないのでしょうか。

西山先生 それでは、3点セットということで進めましょう。

古畑先生 日程的に厳しいが作成できるのであれば予算はあります。あわてないで作成した方が良いでしょう。来年度、予算さえつけばすぐに動きだせるので。

鈴木先生 作成する内容に関してはもう一度全員で議論する必要があります。

古畑先生 内容に関しての議論はこれまで通りに進める。そうすれば4月から作成に入れる。

3. 高月先生のコンテンツの説明 (PPT)

(以下発言順です)

鈴木先生 自分のコンテンツにフィットするものがあるので利用したい。相談させてください。

高月先生 漫画は万国共通なので色んなところで使われている。

西山先生 漫画が非常にわかりやすくインパクトがある。

高月先生 ごみの分別の映像は中学校の教科書などに使われている。メモを各スライドに入れていきます。

鈴木先生 スライドが多く利用する人が目移りしてしまいますので、おすすめなスライドを選別していただけると良いかもしれませぬ。

高月先生 それではおすすめ版を作成します。

西山先生 鈴木先生・高月先生の両名が御忙しいので次回は時間をおいて4月頃はいかがでしょうか。

高月先生 2月・3月はメールや電話でやり取りをすれば良いのでは。

西山先生 その間は金沢電子出版経由で資料や情報を各先生方に発信する。

西山先生 コンテンツの内容に関しては次回の検討会で詰める。

鈴木先生 学生たちがディベートできるようなコンテンツが作れたらよいと思う。金沢電子出版の方でもどのような仕組みにするか整理しておいてほしい。

金沢電子出版 ディベート能力を高めるようなものなのか、ディベートすることに意義があるのか、どの辺に教育目標を置くのかで方向性が変わってきます。

鈴木先生 どちらも重要だが、今までの議論を聞く限りは後者が重要だと思う。学生たちがディベートを通じて積極的に考えていけるイメージを考えている。

西山先生 5回目・6回目の検討会で鈴木先生・高月先生の作成されたコンテンツを元にディスカッションするテーマを決めるとよいのでは。情報を集めるので5回目・6回目の検討会で情報環境を提案できるのではと思っています。

高月先生 私と鈴木先生の主張が全部でてしまうより、課題提示で止めておき学生たちが議論するスタイルが良いのでは。学生たちが色んな角度で議論できるような仕組みを準備してあげればよいように思います。

西山先生 次回の検討会議は4月の15日以降です。本日は終了です。

第2回大学連携 ESD・環境コンテンツ検討会

日時：平成21年12月16日18時～20時

場所：石川四高記念文化交流館 2階 多目的4

出席者：金沢大 鈴木先生

金沢大 古畑先生

金沢大 西山先生

金城大 川邊先生

小松短大 新田先生

県立大 高月先生

金沢電子出版株式会社（オブザーバー）

1. 西山先生より議題等の説明

2. 自由討論

第1回検討の概要

- 教育目的・対象として、環境マインドを持った人材育成、文理ともに対象
- コンテンツ内容として、入門的なもの補助教材として活用できる20分程度の短いコンテンツ（パーツ）を複数用意する。各教材にはその授業活用案を付加する。また、討論の題材となるようなコンテンツ（パーツ）についても検討する。
- 具体案として、環境倫理、公害、里山・里海、市民・NGO・NPO活動など

検討事項

- ・第1回で出た上述の具体案のほかにどのようなテーマ（パーツ的映像など）があるか。（配布資料：資料2）
- ・県からの環境教育コンテンツの作成要望について（配布資料：資料1-1）
- ・具体的なコンテンツのイメージを持つために、金沢大学での科目の授業例の紹介
- ・他大学の討論を含む環境教育科目の紹介（配布資料：資料3）
- ・コンソーシアムの加盟大学で活用されるコンテンツについて、すくなくともいくつかのテーマと具体的な内容を決めたい。

（以下、ご発言された先生のお名前を付けます）

西山先生 第1回の各意見のまとめ。パーツについての検討（資料2）

古畑先生 予算については、1月末まで入力、2月末まで納品が原則。生物多様性・里山里海について県からの要望があり、すでに了承して進めています。生物多様性コンテンツは北陸朝日放送が作成。1本5～10分程度（資料1-1）里山里海冊子は講義で使えるようなものを作成。

鈴木先生 来年度を含めた計画はどうなるのか？

古畑先生 1月中旬にならないと来年度の予算がわからない。

西山先生 県の要望で作成するものと、こちらで作成するコンテンツの内容にダブリがでてくるのでは？議論が必要。

※金沢電子出版の作成したサンプルコンテンツを視聴

鈴木先生 金沢大学の環境教育は4パターンに分類されている。

西山先生 eラーニングの手法としては？PPT・映像以外に何かあるのか？

新田先生 ゲーム感覚の要素を入れてみてはどうか？

西山先生 (資料3の説明)

鈴木先生 テーマとしてはやはりゴミ問題では？自治体毎に違うのをどうする？

高月先生 技術的に問題がないのであれば何か動きがあったほうがよいのでは？

鈴木先生 PPTは使いやすいが、動画が長いと使いにくいのでは？

新田先生 ゴミが身近なテーマ

川邊先生 学生の興味を持たせる為に、身近な問題から広げていく

鈴木先生 学生には汚染問題は人気がないが、水に関しては人気があった。学生に興味を持たせることが大事。ディベートのきっかけになるようなテーマが良いのでは？

川邊先生 環境と健康がおもしろいのでは？環境活動が人体に及ぼす影響など根本となる事を教える。その結果、ゴミやリサイクルなどの肌で感じるものがよいのでは？

新田先生 酸性雨の問題、オゾン層破壊による皮膚への影響。学生に必要性を教える。

鈴木先生 日本の歴史的公害や地球環境による人体への影響などはどうか。日本での問題は水資源→雪が降らなくなった事が原因

西山先生 挙がっているテーマに関する映像はあるのか？

鈴木先生 NHKに多い。しかし、有料で利用方法が難しい。写真なら無料なものが多い。一般的なごみ問題などはすでにある資料を再編集する。

高月先生 アジア向けDVD制作の資料ならある。

川邊先生 学生をひきこめるようなイントロを作る事がカギ。

西山先生 次回1月に高月先生に指導をしてもらい仕様をまとめる。

高月先生 学生の日常と絡めたものを準備する。

西山先生 次回の会議は1月中旬～下旬。仕様の確定をする。

鈴木先生 環境と健康については西山先生と相談する。

3. 次回会議予定

1月中旬～下旬を予定

第1回大学連携ESD・環境教育コンテンツ検討会

日時：平成21年10月29日9時30分～11時

場所：いしかわシティカレッジ（旧県庁跡地）教室1

出席者：金沢大 鈴木先生

金沢大 古畑先生

金沢大 西山先生

金城大 川邊先生

小松短大 新田先生

県立大 高月先生

星稜女短大 沢野先生

※コンテンツの作成は金沢電子出版に（企画の段階からオブザーバーとして参加）

1. 自己紹介

2. 西山先生より趣旨説明

3. 自由討論

- ・教養科目として。
- ・いろいろなバックグラウンドがあると思う。
- ・リーダーの養成まで行けるかどうかは難しい。環境マインドを持った学生を育てるようなコンテンツを。

（以下、ご発言された先生のお名前を付けます）

高月先生 理系・文系混在なのか違うのか。コンテンツを受けておけ、で終わりなのか。どうしても深いコンテンツができない。どうカバーしていくか。

古畑先生 多様なものを作っていく。問題はないのか。ガイダンスでも使えるような汎用的なコンテンツが1つあってもいいのでは？必要では？ コースを作るのではなく、ガイダンスなどのようなもの。予算に関しては来年度も含めて考える。

鈴木先生 すべてをカバーするのではなく、正に古畑先生が言ったようなこと（資料P8）。難しいものよりも、誰もが分かるような、皆が意識づけるような。その上で、各大学が欲しいというもの。

新田先生 「コンテンツによる効果」が見えるような（ゴミの分別もおぼつかない）。

鈴木先生 金沢市の方に来ていただいて、不法投棄の話をお願いしたら好評だった（大社論）。

古畑先生 入学頭初は、何を言っても頭に入らない（舞い上がっているので・・・）（大社論）。ビデオで分別、水の処理、大学の活動（を見せた）（大社論）。

高月先生 映像として見せるのはインパクトがあって良い。

鈴木先生 学部で3本、院で300本、誰が何をやっているのか分からない。石川でこんな取り組みがあるという紹介から始まり、次のステップで少し進んだ内容

沢野先生 グローバルよりもローカルのものを伝えたい。

- 高月先生 ゴミ処理施設の映像でも、撮映できるのか？。
- 西山先生 大社論で40分ほどの映像がある（ゴミ処理・水処理）。
- 西山先生 NPOの活動/NGOの活動はあるのか？。
- 鈴木先生 いろいろある。協力してもらえと思う。
- 川邊先生 カリキュラム上では環境材料はない。簡単にはいじれない。厚労省の縛りがある。（必修からはずれるので、学生は必ずしも受講しない）。授業で使ったものを集めて自由に使うのと、クローズドなものとの違い。押し着せにはしたくない。教育目標とずれる場合もある。著作権処理されたものの集積ならありがたい。それぞれ自分の大学だけで作ると、自分の学生の前提知識を入れて作ってしまう。イントロをする前段階のイントロがあるのもいい。授業展開例があるとよい。地元の学生が多いので、地元の例を見せられるとよい。
- 高月先生 環境「倫理」というと学生は敬遠してしまう。環境「哲学」。
- 鈴木先生 川邊先生の言うように、押し着せよりはパーツパーツにして、それを利用できたほうが良い。
- 川邊先生 コンソーシアムは卒業単位にならない。コンテンツをどう使うかという指導案があると良い。教員がゼロから作るのは難しい（→つまりコンテンツを教員が使いこなせない）。
- 沢野先生 Moodleを使うとして、「パーツ」を組み合わせて90分を作る。
- 川邊先生 その組み合わせの案があるとよい。
- 高月先生 組み合わせたパッケージがあっても、それはそれでよい。
- 新田先生 教養科目に組み込むのは難しくないが、15回のコースとしてどのように展開していくのか見えてこない。
- 古畑先生 企画は各大学の提供として扱う。
- 西山先生 「パーツ」という最小モジュールをどう作るか。それを作って行って、集めて1つの科目を作る。NPO/NGOの取材なども作れる。
- 鈴木先生 パーツを作っていくのが良い。1コース15パーツ、である必要はない。90分の中に幾つかのパーツがあっても良い（「パーツ」の大きさについて）。
- 川邊先生 社会人（大人）が受講できるので、学生のことだけ見てはいけない。スポンサーである、市や県の取り組みも取り上げると良い。
- 高月先生 教え込むだけでなく、ディスカッション、ディベートさせたい。自分の問題としてとらえて欲しい。
- 川邊先生 手を動かす課題演習が欲しい。「調べる」などの作業。

4. 次回会議予定

12月第1週または2週を予定